

# 講演大会講演申込書記入要領

1. 申込み講演と別に連続して同時発表を希望する講演(連報)がある場合には、その予定講演者を記入する。
2. 申込み講演の発表を希望する部会の□内にX印を記し、中分類項目について下表のコードにより希望順に最大3つを記入する。

講演申込中分類コード表

高温プロセス(100)			材料の組織と特性(300)						計測制御システム工学(600)			
大分類	コード	中分類	大分類	コード	中分類	大分類	コード	中分類	大分類	コード	中分類	
高温 プロセス基礎 (110)	111	熱力学	相変態 (310)	311	状態図	各種特性と 組織・構造 相関(480)	481	特性・材質予測 データベース		601	計測・検査 制御	
	112	状態図		312	拡散		482			606	情報システム	
	113	溶液モデル		313	凝固		評価技術 (490)	491		信頼性評価	611	FA・CIM
	114	移動現象		314	偏析			511		純鉄・極低炭素鋼	616	画像処理・信号処理
	115	反応速度		315	介在物	512		低炭素鋼(C<0.2%)		621	自動化・省力化	
	116	高温融体物性		316	拡散・無拡散変態	513		中・高炭素(C>0.2%)		626	生産管理・計画	
	117	電気化学		317	時効・析出	514	低合金鋼	631		物流システム		
	118	凝固・半凝固基礎		318	回復・再結晶・粒成長	515	合金鋼	641		知能化・人工知能応用		
	119	晶析出		319	集合組織	516	高合金鋼	646		プラント計装		
	120	高温変形・変態		320	結晶粒界	517	機械構造用鋼	651		設備診断・保全, 操業診断		
	121	数値シミュレーション				518	ステンレス鋼	656		情報処理		
						519	電磁鋼	661		プロセス解析		
				520	耐熱鋼・超耐熱合金	666	その他					
生産 プロセス技術 (130)	131	原料処理プロセス	組織制御 (330)	331	熱処理, 加工熱処理	材料 の 種類 (510)	521	工具鋼	創形創質工学(700)	701	厚板製造	
	132	コークス製造プロセス		332	表面処理・ 表面改質*c		522	亜鉛被覆鋼		706	厚板利用	
	133	高炉プロセス		333	集合組織制御処理		523	アルミ等金属被覆鋼		711	薄板・箔材製造	
	134	溶銑処理プロセス	材料設計 (350)	351	状態図計算		524	非金属被覆鋼		716	薄板・箔材利用	
	135	転炉プロセス		352	現象のモデリング		525	チタン系材料		721	表面処理材料製造	
	136	電気炉プロセス		353	組織予測		526	複合材料		726	表面処理材料利用	
	137	二次精錬プロセス		354	組織予測 データベース		527	軽量合金		731	形・条材製造	
	138	ステンレス・特殊鋼 製鋼プロセス	分析・ 解析技術 (370)	371	結晶構造解析技術		528	金属材料		736	形・条材利用	
	139	連続鋳造プロセス		372	状態分析・ 表面分析技術		529	セラミックス		741	棒・線材製造	
	140	耐火物		373	化学分析		530	低融点合金		746	棒・線材利用	
141	化学計測・分析	物理的 特性 (390)	391	磁気特性	531	接点・接合・溶接材料	751	管材製造				
			392	電気的特性	532	粉末材料	756	管材利用				
			393	熱的特性	533	各種機能材料	761	鑄造品製造				
			394	光学特性	534	生体材料	766	鑄造品利用				
新プロ セス基 礎(150)	151	新製精錬プロセス*A ニアネットシェイブ キャスト 特殊鋳造プロセス*B 金属製精錬	力学的 特性 (410)	411	変形・破壊機構	材料 の 形状 (550)	551	形状全般(総括)	社会鉄鋼工学(900)	901	鉄鋼グローバル エコロジー	
	152			412	弾性特性*D		552	厚板		906	鉄鋼開発経済	
	153			413	強度, 変形特性*B		553	熱延鋼板		911	鉄鋼社会動態	
	154			414	破壊挙動*F		554	冷延鋼板		916	鉄鋼資源循環システム	
先端ブ ロセッ シング (170)	171	プラズマ・ 高エネルギービーム 電磁プロセス 先端材料製造 表面プロセス	加工 特性 (430)	431	加工性	555	条(形・棒・線)	921	鉄鋼産業リソース			
	172			432	成形性	556	管	926	鉄鋼関連工学			
	173			433	被削性	557	鍛鋼, 鋳鋼, 鋳鉄	931	鉄鋼法工学			
	174			434	溶接性	558	その他の形状					
環境・ エネル ギーブ ロセス (190)	191	リサイクル・環境・ エネルギー 産業廃棄物処理 生活廃棄物処理	化学的 特性 (450)	451	表面構造	*C 各種めっき, 化成処理, 溶射, CVD, PVD, クラッドなど *D 剛性率, 比例限 *E 低温・常温・高温強度, 変形能, 超塑性, クリーブ, 疲労など *F 延性, 脆性, 破壊靱性, クリーブ, 疲労, 摩耗, 各種環境脆性など						
	192			452	表面電気化学							
	193			453	各種表面反応							
				454	各種表面処理材 の特性							
				455	腐食・防食機構							
				456	耐食性, 耐酸化性							
				457	応力腐食							
				458	水素吸蔵特性							
	459	生体適応性										
	460	触媒反応										
		その他の 特性 (470)	471	熱・エネルギー性								
			472	エコマテリアル性								
			473	リサイクル性								
			474	インテリジェント性								

3. 講演申込は講演発表者一人当たり3件以内に限られる。一講演当たり、プログラム掲載の著者は6名以内とし、それぞれの勤務先・所属略称を下記の例にしたがって記入する。講演発表予定者は、申込受付後の諸連絡が迅速・確実にとれるように、連絡先住所・所属部署、電話およびFAX番号を正確に記入する。学生は学生欄の該当するものに○印を付ける。  
勤務先所属略称記入例： 東大工, 東北大素材研, 川鉄鉄研, 神鋼加古川, 新日鉄プロ研, 住金未来研, NKK総研, 金材研

4. 学生ポスターセッション発表希望者は、申込分類欄の学生ポスターセッションと該当する部会にX印を付け、題目、そして著者欄に発表者と指導教官を明記する。

5. 本申込書記載の講演題目はプログラム掲載原稿となり、和文、英文とも講演論文原稿と同一とする。連報の場合には申込講演の具体的な内容を表す主題に添えて、括弧内に一連の報告内容を包括する題目に一連番号を付した副題を記載する。  
連報題目例： 野呂景義と日本鉄鋼協会の創立(日本鉄鋼協会の歴史-1)

## 6. 講演要旨の記入要領

著者抄録の形で能動態を用いて、日本語150字程度で本要旨だけを読んでも講演内容が把握できるように、目的、対象、方法、結果、結論を記述し、本文中の図表や数式は引用せず、用字・用語を統一する。また抄録自体内で定義を与えない限り、広く慣用されていない術語、略記、記号は使用しない。欧字術語は慣用のカナあるいは欧字表記を用いるが、慣用されていない場合には原語あるいは括弧内に(原語)を付記した適切な邦訳語で表す。抄録には題目が必ずともなうので標題で分かることを繰り返さず、標題中の長い語句は、たとえば「標題鋼」のようにして、反復を避ける。

手書きの場合は枠目に一字づつ明瞭に書き込み、またワープロで別紙にプリントしたものは枠内に貼り付けてください。